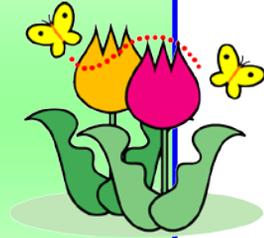




Tuuli

トゥーリ



2014年3月15日発行

♪春は名のみの風の寒さよ～♪と歌われている通り、まだまだ寒い日が続いています。晴れた日の日差しやわかさの中に、そして私たちの心の中にはすでに春が訪れているのですが、この寒さのせいで、なかなか冬のコートが手放せません。また春は、急に天候が変わり、強い雨と風の嵐もやってきます。うらかな春まであとすこしです。どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。



財団法人 立川市地域文化振興財団 コミュニティ奨励賞 受賞のお知らせ

この賞は文化・芸術の分野において、地域で他の模範となる善意の行為や継続的なボランティア活動を行っている個人または団体を表彰するものです。今年も至誠ホームより1名の方の受賞が決まりました。

今回受賞なさるのは特養でお花グループ（生け花）の指導をしてくださっている坂本美智子氏です。特養にはいろいろなクラブ活動がありますが、お花グループもその一つです。皆様もお気づきのことかと思いますが、売店の前のテーブル等に利用者のお名前が書かれた生け花もその作品の一つです。毎回、20名近い利用者の方々がお花を生けられます。

坂本先生が大切にしてくださっているのはその時間を楽しんでいただくこと、そして個人の感性を生かすことだそうです。お年寄りの中には最初「うまくできないから。」としり込みをなさる方もいらっしゃるようですが、いざ活動が始まると昔の思い出がよみがえるのか、とても生き生きとなさり「ああ、楽しかった。」「また次回も楽しみにしていますね。」と笑顔になっておかえりになるそうです。

授賞式は3月22日（土）立川市子ども未来センターで行われます。このように至誠ホームのボランティアさんの活動が地域で認められ表彰していただけるのは至誠ホームとしてもとても名誉で嬉しいことです。

これからもどうか皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。



アートギャラリー展見学と

食事会ボランティア募集



恒例になりましたアートギャラリー展見学と昼食会のお知らせです。今回アートギャラリーの日程が1か月早くなりました。絵画教室の作品が出展されており、それを見学に行きます。至誠ホームを車で出発し、たましんRISURUホールで展覧会を見学し、その後昼食をとって、至誠ホームに戻ります。ボランティアさんのお力をお貸しください。

日時：4月19日（土）10:00～14:00

自己負担金：なし

内容：送迎と見守り（車いす操作可能な方）

募集人数：2名

雨天の場合：決行

手荷物：身に着けられるもの

服装：ズボンなど動きやすい服装

移動：至誠ホームの車利用

☆ 詳細はボランティアコーナーまでお問い合わせください。





ドイツからのボランティアさん



3年前にこの欄でドイツから休暇を使って日本にいらっしゃり、至誠ホームでボランティア活動をしておられるシュナイダー由貴さんをご紹介いたしました。

それから毎年10日から2週間程度、至誠ホームのどこかの施設でボランティアを続けておられます。また今年も来てくださり、今回は主に調布わかばと柴崎で活動をしてくださいます。

昨日日本に到着されたばかりの由貴さんにいろいろお話を伺いました。

Q-1：7年間という長い間、至誠ホームを選んでボランティア活動を続けてくださっている理由とその力はどこから来るのでしょうか？

A-1：その力の源は至誠ホームのライヤさんをはじめとし、施設もその人たちも大好きだからだと思います。私はここで家族のように迎えてもらい、お年寄りからは日本の生活や昔の心を教えていただいています。ドイツと日本は文化が違うので高齢者のお世話の仕方も違います。それが勉強になるからです。

Q-2：定年などで仕事を終えた高齢の方々の楽しみはドイツではどのようなものなのでしょうか？

A-2：ドイツの人たちはたくさんの趣味があります。きれいなところに住むためにお庭の手入れをするのも楽しみの一つです。私の両親はテニスやお散歩を楽しんでいます。ドイツ人にとって仕事は人生の真ん中にありません。仕事がなくなってもその穴は小さく、埋めるものはたくさんあります。趣味のほかに友人と過ごす時間も大切です。友達を家に招待したり招待されたりして食事を共にするのも楽しみです。日本人は仕事が生活の中で大きなウエイトを占めていてぽっかり空いた穴を埋めるのが大変だと聞きます。そこは大きく違うようです。

Q-3：日本のボランティア活動についてどう思われますか？

A-3：ボランティア活動はドイツより日本のほうがずっと進んでいると思います。今日、器楽讚美歌クラブに参加しましたが、このようなボランティア活動はドイツにありません。チェスのお相手や食事介助のボランティアなどはあります。私は今大学で老年学を学んでいます。ドイツでも元氣な老人は病気の人を、豊かな人は自分で費用負担をするなどのことが考えられています。それは老人自身のため、国のため、そして知識を次の世代に伝えることで若い人のためにもなります。

由貴さんは3月31日の早朝日本をたってドイツに帰国なさいます。日本語がとても堪能です。お見かけになりましたらどうぞお声掛けください。



GH朝の体操の送迎ボランティア募集

グループホームの皆さんを朝の体操にお連れいただくボランティアさんを募集します。

- ◆ 曜日：月曜から金曜
- ◆ 時間：9時～9時30分
- ◆ 場所：スオミグループホーム
- ◆ 内容：グループホームの入居者の方々をけやき広場まで職員と一緒に送迎をお願いいたします。
- ◆ 募集人数：各日1名～2名

詳しくはボランティアコーナーまでお問い合わせください



衣類の仕分けボランティア募集

特養3階で衣類の仕分けをしてくださるボランティアさんを募集します

- ◆ 曜日：ご都合の良い日で結構です。
- ◆ 時間：午前でも午後でもご相談に応じます
- ◆ 場所：特養3階
- ◆ 内容：衣類整理とできれば繕い物や衣類の名前つけもお願いします
- ◆ 募集人数：各日1名～2名

詳しくはボランティアコーナーまでお問い合わせください



フィンランドからの研修生の受け入れについて

毎年この時期に行っていますフィンランドの研修生の受け入れですが、今年は秋頃の受け入れとなります。その折にはどうぞよろしく願いいたします。

発行 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム 統括事務局 企画調整 ボランティア担当 寺澤・加藤

連絡先 〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel：042-527-0035 Fax：042-527-2646
E-mail：shisei-volunteer@shisei.or.jp HP：<http://www.shisei.or.jp>